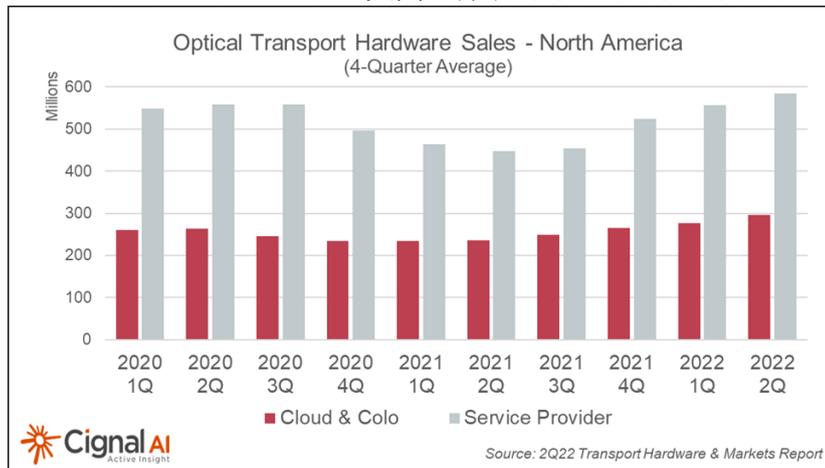


T20220831_02_Cignal AI

北米 WDM トラnsポート支出、COVID 前レベルを超える

北米ネットワークオペレータの光トラnsポートハードウェア支出が、2Q2022 に前年比 20%を超える成長だった。大手クラウドオペレータとともに従来のネットワークオペレータによる装置 CAPEX は、調査会社 Cignal AI のレポート「トラnsポートハードウェアレポート」によると、COVID 前のレベルを超えた。比較では、ヨーロッパとアジアのオペレータの支出は、低いままにとどまっている。



「ブロードバンドインフラストラクチャへの資金提供、継続する 5G 展開、サプライチェーン断絶による繰延需要が、北米における成長に触媒作用を及ぼした。大量の受注残と期待される供給問題の緩和が、同地域のサービスプロバイダやクラウドオペレータにとって急速な支出増の期間を示唆している」と Cignal AI のトラnsポートハードウェア首席アナリスト、Kyle Hollasch は説明している。

予約は例外的に強いままである。例外なく大手ベンダは受注が収益を超え、記録的な受注残と報告している。装置ベンダの指摘によると、サプライチェーン問題が製品出荷能力に影響し、ネットワーク導入や受入を遅らせ、一部の収益認識の先送りとなっている。

2Q22 トラnsポートハードウェアレポート調査結果の要点

- ・2022 年第 2 四半期、世界的な光ハードウェア支出は 3%増だった。北米と中国では収益は伸びたが、全ての他の地域では下降だった。
- ・世界のクラウドとコロケーション支出は、従来のサービスプロバイダのほぼ横ばいの支出に比べて、10%を超える成長だった。エンタプライズと政府系への販売は、5 期連続で前年比減。パンデミック中の支出水準が正常に戻ったためである。
- ・Cisco、Infinera、ADVA が北米のクラウドオペレータによる支出増から最も恩恵を受けた。
- ・結果は、地域によって大きく変わった。北米光収益の伸びは、過去最高の記録的第 2 四半期に達した。一方、ヨーロッパの支出は落ち込んだ。EMEA の落ち込み

は、不利なドル交換レートと相俟ってトランスポートから RAN へのシフトによるものである。

- ・世界のパケットトランスポート販売は 6%成長、これは、16%増となったクラウドとコロパケット支出が原動力。

- ・北米パケットトランスポート販売は、光と並行して上昇し、Cisco、Nokia、Juniper の全てを合わせて 30%を超える成長となった。EMEA パケット販売は落ち込んだ。